

絶対値は0からの距離

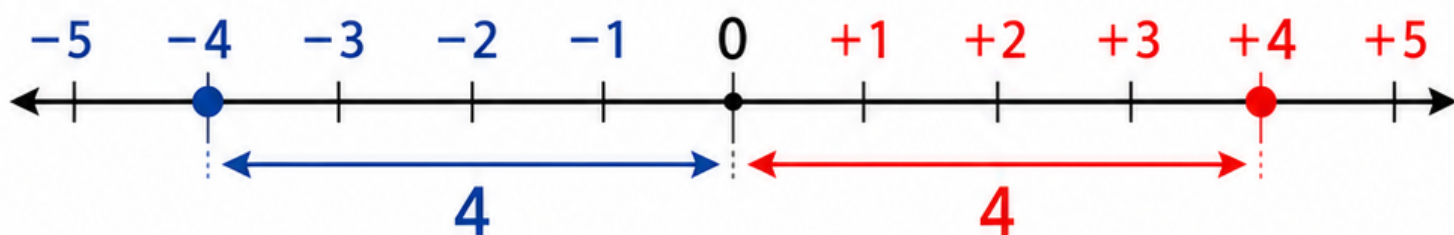
絶対値とは 数直線上で、ある数から0までの距離を「絶対値」といいます。

$$|-4| = 4 \quad | +4 | = 4 \quad | 0 | = 0$$

💡 絶対値は「| |」で表します。

絶対値は必ず0以上になります。

数直線でのイメージ



- ・ -4 と +4 は、0 をはさんで反対側にあります。
 - ・ どちらも 0 から 4 だけ離れています。
- ▶ そのため、絶対値はどちらも **4** です。

絶対値の3つのルール

- 1** 絶対値は0以上になる。

$$|-7| = 7, \quad | +3 | = 3 \quad \text{など}$$

- 2** 0の絶対値は0。

$$| 0 | = 0$$

- 3** 符号だけが異なる数は、絶対値が同じ。

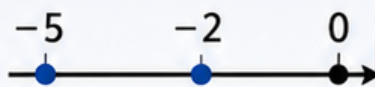
$$|-6| = 6, \quad | +6 | = 6$$

間違いやすいポイント

絶対値の大きさと、数そのものの大小はちがいます。

数そのものの大小

$$-5 < -2$$



絶対値の大小

$$|-5| > |-2|$$



-5 は -2 より小さいですが、
0 からは -5 の方が **遠く** にあります。

ミニ確認！ 絶対値を求めてみよう！

1 $|-3| = \underline{\quad ? \quad}$

答え ▶ **3**

2 絶対値が5になる数は？

() と ()

答え ▶ **-5 と +5**

★ 絶対値を使う場面の例

- ・ 数の距離を表すとき
- ・ 誤差や変化の大きさを表すとき
- ・ 方程式の解の条件に使うとき

など

